

重要課題 ② 安心・安全な情報通信社会の実現

ハイライト ICTサービス利用の啓発活動

方針

KDDI

KDDIのアプローチ (ICTサービス利用の啓発活動)

ひとり1台を超えるほど普及した携帯電話やスマートフォンは、人々が社会生活を送る上で欠かすことのできない重要なツールとなっている一方、利用による事故やトラブルは深刻な社会問題になっています。KDDIは、お客さまがトラブルに巻き込まれることなく通信サービスを安心・安全に利活用いただけるよう、さまざまな取り組みを行っています。

方針

KDDI

安心・安全に関する基本方針と戦略

KDDIは、情報通信社会において、子どもたちが安心・安全にコミュニケーションを図れることを目的として、「青少年の安心・安全に関するKDDIの基本方針」を策定しています。この方針に従い、KDDIは、子どもたちが情報通信サービスを安心・安全に利用できるよう、教育・啓発活動を積極的に展開し、子どもたちの情報リテラシー向上に寄与していくことを目指しています。

青少年の安心・安全に関するKDDIの基本方針

KDDIは、青少年が携帯電話やインターネットなどの通信サービスによるトラブルに巻き込まれることのないよう、さまざまな活動を行っています。

これからも、青少年が円滑なコミュニケーションを築きながら、安心・安全を実感できる社会の実現に取り組んでまいります。

活動・実績

KDDI

安心・安全の啓発活動

■ 「KDDIスマホ・ケータイ安全教室」(ジュニア向け講座)

KDDI、沖縄セルラー電話、KDDIグループ共済会は、子どもたちがスマートフォンや携帯電話を安心・安全に利用するために必要なルールやマナーを理解し、自らの判断でトラブルに対処する能力を身に付けるために、「KDDIスマホ・ケータイ安全教室」を2005年度から全国で実施しています。

ジュニア向け講座は小学生、中学生、高校生、保護者・教職員の方々を対象で、2016年度は計3,806回実施し、約68万名の方にご参加いただきました。これにより、2005年度から2016年度末までの実施回数は累計2万回超、受講者数は累計約370万名に達しています。

講座が受講者に与える影響については、2015年度に実施した産官学連携講座において、講座実施前後のアンケートで測定しており、受講後は全7項目でトラブル回避傾向に改善が見られています。また、講座内容をまとめた貸出し用DVD教材は公益財団法人 消費者教育支援センター主催の「消費者教育教材資料表彰2017」で優秀賞を受賞しています。

講座プログラムは毎年見直しており、動画による説明や題材の更新など、今後も子どもたちの意識をさらに喚起する教材の導入に努めます。



■ 「KDDIスマホ・ケータイ安全教室」(シニア向け講座)

KDDIは、自治体と連携し、概ね70歳以下のシニアで、スマートフォンをまだ持っていない方や持っても使い方がよく分からない方へ「シニア向けスマートフォンコース」「シニア向けタブレットコース」の講座を実施しています。KDDI社員が講師として地域の施設を訪問。受講者は、講師の操作を投影した画面を見ながら、1人1台ずつ貸し出されるauのスマートフォンやタブレットを使って基本的な操作や、メール、インターネットの使い方などを体験します。

2016年度は215回実施し、約3,900名の方にご参加いただきました。また2016年度から、災害時のスマートフォンの有効活用についても併せて学ぶ「防災対策を学ぶコース」を新設しました。防災対策に役立つアプリや、災害用伝言板サービスなどによる緊急時の安否確認や連絡手段についても学びます。スマートフォン、タブレットなどを活用することで、シニアの方々が暮らしをもっと便利に快適に過ごせるよう、今後もプログラムの改善に取り組んでいきます。

■ 聴覚障がい者向けIT教室の実施

障がいのある学生の就労支援を目的に、KDDIのIT技術を生かし、聴覚障がいのある方が日常生活で抱える課題を解決するIT教室を2014年度から継続実施しています。2016年度は、自動車運転中に緊急車両のサイレン音に気がつかないという不便を解消するため、ろう学校の生徒に対し、救急車の音をスマートフォンのバイブレーション等でお知らせするアプリケーションを試作開発する授業を実施しました。

年度	取り組み内容	参加人数
2014年度	・聴覚障がい者向けIT教室の開催	60名
2015年度	・聴覚障がい者用陸上スターターアプリ開発授業の実施	11名
2016年度	・聴覚障がい者向け「救急車お知らせアプリ」試作開発授業の実施	10名

〈実績〉

- ・「平成28年度 青少年の体験活動推進企業表彰」(文部科学省主催)「審査委員会特別賞(大企業部門)」受賞
- ・KDDIのIT教室への参加が契機となり、参加生徒1名が大学の情報学部に進学

Link
Page_30

KDDIのアプローチ (アクセシビリティの向上)